

第1回進路説明会

| | | |
|-----|-------------------|----|
| I | 本校の進路指導・・・・・・・・・・ | 2 |
| II | 中学校卒業後の進路・・・・・・・・ | 3 |
| III | 教育内容について・・・・・・・・ | 5 |
| IV | 入試制度・・・・・・・・・・ | 6 |
| V | 進路に関する日程・・・・・・・・ | 12 |
| VI | その他・・・・・・・・・・ | 13 |

令和8年6月12日（金）

砧の学び舎世田谷区立砧中学校

| | | | |
|---|---|---|----|
| 年 | 組 | 番 | 氏名 |
|---|---|---|----|

I 本校の進路指導

(1) 進路指導方針

- ① 進路指導については学級担任が窓口となりますが、学校・学年全体で共通理解の下、対応いたします。
- ② 学力の物差しだけではなく、個性や適性、将来の目標など生徒を多面的に捉えた指導をおこなっていきます。

(2) 進路選択

自分にとって「ベストな進路」を選ぶ

- ① 自分の将来の目標（就きたい職業）
- ② 部活動
- ③ 進学実績、高校卒業後の進路
- ④ 特色や学校行事
- ⑤ 施設や環境

(①～⑤などを各私立高校HP、東京都教育委員会HP、学校説明会などで確認してください。)



(3) 「推薦」について

都立高校や私立高校の推薦入試を受験する際は、中学校長の推薦が必要です。推薦は校内の「推薦委員会」を経て、校長が決定します。なお、推薦委員会は、校長、副校長、主幹教諭や各主任等で組織します。

Ⅱ 中学校卒業後の進路

①就職

* 公共職業安定所（担当：ハローワーク渋谷）

* 縁故

②進学

* 高等学校（全日制・定時制・通信制など）9月に多様な進路を考える進路説明会があります。

* 高等専門学校

* 高等専修学校・専修学校

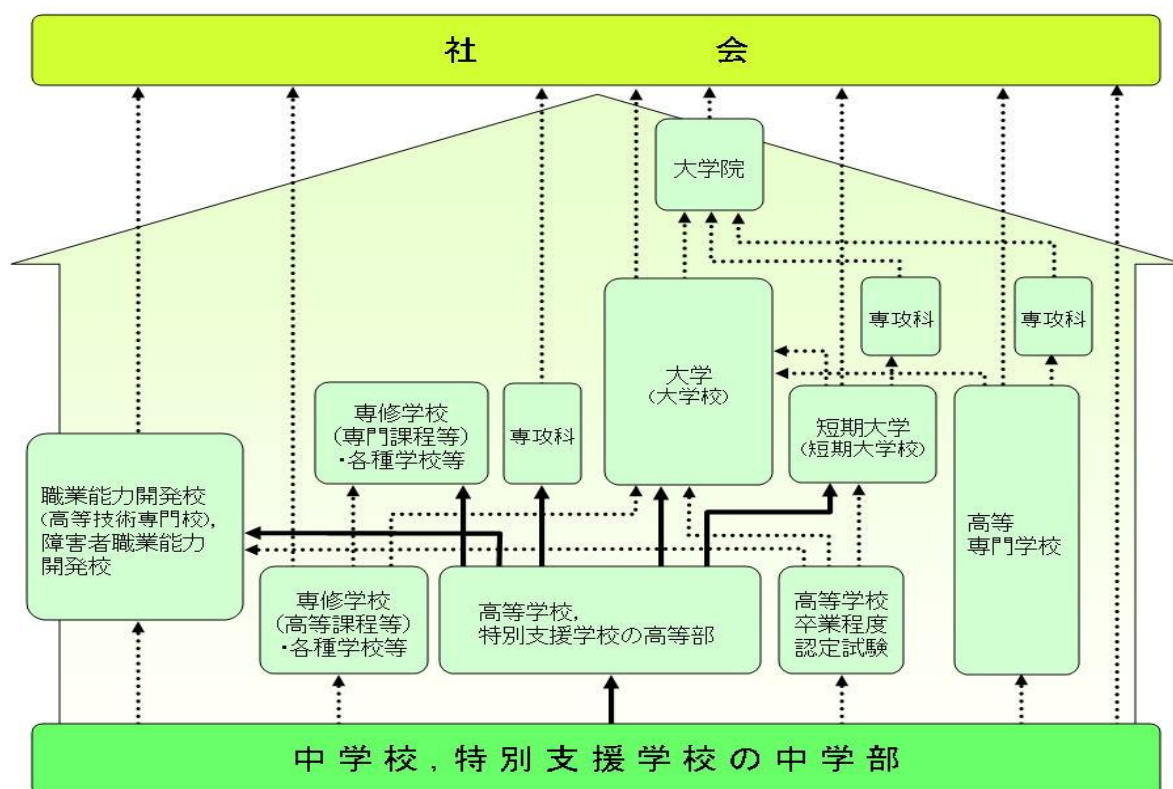
* 各種学校

* その他（留学・サポート校・補習校・フリースクールなど）

③その他

* 職業能力開発センターなど

* 企業内学校



◇**高等学校**…全日制・定時制・通信制課程があります。設置者の違いにより都立・私立・国立があります。＜学科は大きく分けて3つ（普通科・専門学科・総合学科）＞

◇**高等専門学校**…5年課程の高等教育機関です。卒業後は大学編入資格が得られます。＜理工系分野＞

◇**高等専修学校・専修学校**…職業や実生活に役立つ、実務にウェイトをおいた教育を行っています。3年制の高等専修学校においては高校卒業資格が得られます。
＜工科、農業、医療、衛生、教育・社会福祉、商業実務、服飾・家政、文化・教養の8分野＞

◇**各種学校**…実生活に役立つ知識や技能を身につけます。高校卒業資格は得られません。

◇**職業能力開発センター**…求職中の人、転職希望者などを対象に職業に必要な知識や技能を習得する施設です。

◇**企業内学校**…企業が社員の教育のために設置した学校で、生徒は採用を前提に入学し、教科とともに、各企業で必要となる実践的な技能を学びます。通信制高等学校と技能連携し、高等学校卒業の資格を取ることができます。

◇**サポート校**…通信制高等学校を修了するための手助けをする機関です。
(学校教育法上の学校ではありません。)



Ⅲ 教育内容について

都立高校

- ◇学年制：学習する教科・科目が学年ごとに決められ、その学習成果が認められると単位が与えられ、次の学年に進級します。
- ◇単位制：学年の区別がなく、卒業までの間で必須科目のほかに自分に適した教科・科目を選択し、その学習成果が認められて、入学から卒業までに決められた単位数を習得すれば卒業できます。

| | | |
|--------|---|--|
| ① 普通科 | 普通科 | 国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報の各教科を中心に学習します。学校が定めた教育内容に従い、定められた科目や自分で選択した科目を学習します。大学・短大・専門学校への進学や就職など、幅広い進路に対応します。 |
| | コース制 | 興味・関心に応じて学習内容の重点化を図り様々な選択科目を設けています。深川・松が谷・小平「外国語」片倉「造形美術」など。 |
| ② 専門学科 | 卒業してから実社会に出てすぐに役立つ専門知識や技術を学びます。「農業」「工科」「科学技術」「商業」「ビジネスコミュニケーション」「家庭」「福祉」「体育」「国際」「産業」「芸術」「併合」などを学ぶことができます。 | |
| ③ 総合学科 | 幅広い選択科目の中から、自分の特性や進路希望に合った科目を選択し、系統的、専門的に学習します。自分の生き方や将来の進路を考える「産業社会と人間」を全員が学習し、科目選択に生かします。 | |

◇「エンカレッジスクール」

生徒の学び直しへの意欲と熱意を重視し、学力検査によらない入試選抜をします。30分授業の実施、二人担任制導入などの独自の指導方法があります。

◇「チャレンジスクール」

自分のライフスタイルや学習ペースに合わせて各時間帯を選んで入学する昼夜間定時制総合学科です。学力検査によらない入試選抜をします。(3～4年間)

私立高校

私立高校にもさまざまな学科やコースが設置されています。(一部紹介)

| | |
|--------------|--|
| 特進 大学進学 | 大学進学に即応したカリキュラムでの授業です。きめ細やかな進学指導を取り入れています。 |
| 外国語 国際関係 | 語学力と国際感覚を身につけるコース。英語以外の外国語も設置されています。留学コースを設置している高校もあります。 |
| 情報関係 | ICTを活用するための基礎知識や技術を習得できるようにカリキュラムが組み込まれています。 |
| 社会福祉関係 | カウンセリングや介護についての専門知識を学び、卒業時に国家試験の受験資格を得ることができます。 |
| 幼児教育 保育関係 | 将来、保育士として子供に接するために必要な専門知識を身につけることができます。 |
| その他 | 音楽・デザイン・演劇・バレエなどの芸術系、看護・医療系、鉄道系などがあります。 |

IV 入試制度

(1) 都立高校

※これは昨年度の内容です。

推薦入試

① 種類

| | |
|--|--|
| 一般推薦 | <p>◇全日制普通科で募集人員（男女別または男女合同）の20%以内となります。 ただし、コース制、エンカレッジスクールは30%以内となります。</p> <p>◇全日制専門学科で募集人員の（男女別）。</p> <p>◇全日制総合学科は募集人員の30%以内となります。</p> |
| <p>基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜します。</p> | |
| 文化・スポーツ等 特別推薦 | ◇推薦に基づく選抜の対象人数枠の中に内数として特別枠を設け、その人数は各都立高校長が適切に定めています。 |
| <p>各都立高校の個性化、特色化を推進するため、卓越した能力をもつ生徒の力を評価し、選抜します。</p> | |
| 理数等特別推薦 (立川・科学技術) | ◇昨年度は募集人員の立川 15%、学技術 20%以内でした。 |
| | <p>科学技術の根底にある理数系分野の素養を前提に、探究の過程を通して、課題を解決する力や、他者の考えから自分の考えを深めるとともに、新しい価値を生み出す創造性など、変化し続ける社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜します。</p> |

② 入試日程 (昨年度インターネット出願)

| | |
|--------------|--------------------------|
| 出願 (入力期間) | 令和7年 12月19日 ~ 令和8年 1月16日 |
| 入試日 | 令和8年 1月26日・27日 |
| 合格発表日 | 令和8年 2月2日 |

③ 選抜方法

<必須> 調査書、集団討論 (必要と判断した都立高校のみ実施)、個人面接

＋ ↑ 日比谷、西、竹早など6校 (普通科)

<選択> 小論文 or 作文、実技検査、学校設定検査

◇学力検査は実施しません。

◇調査書点は3年次の評定もしくは観点別評価を点数化します。

◇自己PRカードは点数化されませんが、面接資料で用いられます。

④出願資格

- ◇志願する都立高校を第一志望とする者。
- ◇一般推薦・特別推薦に志願する意思があり、在学している中学校の校長の推薦を受けた者。
- ◇都内の中学校に在籍し、令和9年3月に卒業する見込みの者。

**本人と保護者の申請に基づいて、
校内の推薦委員会を経て、校長が決定する**

<注意事項>

- ◇出願後の辞退等が起こらないよう留意してください。
- ◇文化・スポーツ等特別推薦は実施する都立高校の種目等から1種目指定、1コースまたは1科に限り出願できる。また当該校の一般推薦にも出願できる。
- ◇推薦入試で不合格の場合でも、一般入試で同じ高校を受検できる。

一般入試

① 種類（1種類）

| | |
|----------------|---|
| 一次募集 (二次募集) | ◇募集人員（推薦合格人数を引いた人数）を1回で選抜します。 ◇二次募集は一次募集で募集定員に満たない場合のみ行われます。 |
|----------------|---|

◇昨年度から全日制の「分割後期募集」が廃止されました。

② 入試日程 (昨年度インターネット出願 / 分割後期・二次募集の出願は持参)

| | 一次募集・分割前期 | 分割後期・二次募集 |
|--------------|---------------------------|------------|
| 出願 (入力期間) | 令和7年 12月19日 ~令和8年 2月5日 | 令和8年 3月 5日 |
| 入試日 | 令和8年 2月21日 | 令和8年 3月10日 |
| 合格発表日 | 令和8年 3月 2日 | 令和8年 3月13日 |

*令和7年度11月22日(日)スピーキングテスト(ESAT-J)が行われました。

③選抜方法

調査書（スピーキングテストの結果を含む）、学力検査（学校によって面接、小論文または作文、実技検査）を総合した成績で判断されます。

<選抜方法の変更点>

学力検査の得点（換算後）＋調査書点（換算後）＋スピーキング（20点）＝総合得点（1020点）

- ◇学力検査を行います（英語はリスニングテストがある）
※エンカレッジスクールや定時制の一部の高校などは実施しません。
- ◇試験科目は5教科（国数英社理）がほとんどですが、3教科（国数英）の高校もあります。
面接、作文を実施する高校もあります。

学力検査：調査書点 ※一次、分割前期の全日制は一部をのぞき、7：3

- ◇多くの学校でマークシート方式の学力検査を行います。
- ◇特別な選抜方法を実施している学校があります。

- ⇒グループ作成問題、自校作成問題、傾斜配点、特別選考
 ◇自己PRカードは面接のある学校のみ提出を求められます。
 ※点数化されないが、面接資料として用いられます。

<注意事項>

- ◇国立、私立高校に進学を決めた場合、原則的に都立受検は見合わせてください。
 ◇合格後の進路変更などの特別な事情については、すみやかに学校にご相談ください。

【調査書点の換算について】

推薦入試の場合 調査書点は3年次の評定もしくは観点別学習状況のどちらかを点数化します。

①評定（5段階）では

$$\frac{\text{本人の評定の得点} \times \text{調査書点の満点}}{\text{評定の満点 (45)}} = \text{本人の調査書換算点}$$

②観点別学習状況（3段階）…ABCを得点化する

$$\frac{\text{本人の観点別学習状況の得点} \times \text{調査書点の満点}}{\text{観点別学習状況の評価の満点 (各校によって違う)}} = \text{本人の調査書換算点}$$

一般入試の場合 調査書点は3年次の評定を点数化

| | 学力検査を実施する教科 | 学力検査を実施しない教科 | 換算内申 (満点) |
|--------------|------------------|-------------------------|-----------|
| 5教科入試 | 評定数値は 1 倍 | 評定数値は 2 倍 (切り捨て) | 65 |
| 3教科入試 | 評定数値は 1 倍 | 評定数値は 2 倍 (切り捨て) | 75 |

| 学力検査：調査書点 | 調査書換算点 |
|--------------------|---------------------------|
| 5教科入試 (7:3) | 本人の換算内申 × 300 ÷ 65 |
| 3教科入試 (7:3) | 本人の換算内申 × 300 ÷ 75 |



【学力検査の得点の換算について】

| 学力検査：調査書点 | 換算得点 |
|------------|------------------------------|
| 7:3 | 本人の学力検査得点 × 700 ÷ 500 |

調査書点に用いられる内申は3年次2学期に通知します。9教科の評定（この評定は3年次の1, 2学期の成績を合わせて評価します。）

【スピーキングテスト(ESAT-J)の換算について】

スピーキングテストの結果の点数化は、Aは20点、Bは16点、Cは12点、Dは8点、Eは4点、Fは0点となります。詳細は都のホームページや7月頃に配布される「令和9年度東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」をご参照ください。

(2) 私立高校

推薦入試

- *その学校が第一志望で、合格したら必ず入学することを条件に受験できる制度
- *12月15日以降の入試相談(中学校の先生と高校の先生で行われる事前相談)を経て出願

①種類(大きく2通り) 高校により名称が異なる

<推薦・A推薦・単願推薦・スポーツ推薦など>

| | |
|----------------|---|
| 適性検査の受験が必要ない場合 | 入試相談を経て、推薦基準を満たしている必要があります。 |
| 適性検査の受験が必要な場合 | 推薦基準はあくまでも応募資格で、学力等を見極めるための適性検査を実施します。基準に達しない場合は不合格となります。 |

②入試日程(昨年度)

| | |
|------|--------|
| 願書提出 | 1月15日～ |
| 選抜日 | 1月22日～ |
| 合格発表 | 1月23日～ |

※私立高校は学校により異なります。

③選抜方法

中学校長の推薦書、調査書、面接、小論文または作文、(適性検査)の総合で判断されます。

◇適性検査(3教科)を実施する高校もあります。

※適性検査を実施する学校は、不合格の場合もあるので第2志望校も検討しておいてください。

◇面接は学校により、個人面接か集団面接となります。

◇スポーツや芸術関係の場合、実技検査があることが多いです。

④推薦基準

◇入学志望や目的意識が明確であること。

◇内申(教科の評価点)、出席状況(遅刻、早退、欠席)が高校側の推薦基準を満たしていること。

本人と保護者の申請に基づいて、

校内の推薦委員会を経て、校長が決定する

<注意事項>

- ◇高校の説明会や学校見学会、体験学習などは必ず参加してください。（説明会、見学会は親子で参加してください。）HP等で事前予約を取る必要がある場合が多いです。
- ◇入試相談後の志望校変更は原則としてできません。
- ◇推薦枠は決まっているため推薦基準に満たしていても一般入試にまわる場合があります。
- ◇出願したら、必ず受験します。
- ◇合格したら、必ず入学します。合格後は他の高校は一切受験できません。
- ◇推薦入試で不合格になっても、一般入試で同じ高校を受験できます。
- ◇スポーツや芸術関係でセレクション等がある場合は中学校（学級担任）へ連絡してください。

一般入試

① 一般入試 ◇基準、条件はありません。

② 優遇制度を利用したの受験（12月中旬の入試相談を経て出願）

優遇制度の名称は学校により異なります。

| | |
|--------|---|
| 併願優遇 | ◇第一志望が不合格の場合にその私立高校に入学することを約束して受験します。（主に都立併願だが、私立併願可の学校もあります。） ◇高校が示す出願基準を満たしている。 ⇒基準は推薦基準より高い場合が多いです。 ⇒合格の可能性は一般入試より高くなります。 |
| 第一志望優遇 | ◇合格すれば必ずその学校に入学することを条件として、入試の得点に加点されたり、ボーダーライン上で優遇されたりすることがあります。 ◇高校が示す出願基準を満たしている。 |

③ 入試日程

| | |
|------|--------|
| 願書提出 | 1月25日～ |
| 選抜日 | 2月10日～ |
| 合格発表 | 2月11日～ |

※学校によりそれぞれ違う日程になります。

④ 選抜方法

- 調査書、学力検査、面接、作文、（適性検査）の総合で判断されます。
- ◇学力検査は3教科がほとんど。
 - ◇面接は学校により、個人面接か集団面接となる。
 - ◇学力検査の比重が高い傾向がある。（面接を重視する学校もある）

<注意事項>

◇必要に応じて説明会や学校見学会、体験学習などは参加するようにしましょう。

(説明会、見学会は親子で参加しましょう)

※事前予約が必要な場合が多いです。随時、高校のHPで確認をお願いします。

◇優遇制度利用の場合

・入試相談後の志望校変更は原則としてできません。

第一志望優遇

⇒合格したら必ず入学する。合格後は他の高校は一切受験できない。

併願優遇

⇒第一志望校が不合格になった場合は原則入学する。

(3) 国立高校

※昨年度の例

*国立高校は、都立高校とは受験方法が多少異なります。希望がある場合は早めに担任にご相談ください。

◇選抜方法は調査書、学力検査(5教科が多い)、面接などの総合で判断される。

◇一般入試の出願時期は1月より始まる。

◇一般入試の試験日は2月21日

(4) 高等専門学校

※昨年度の例

*5年課程の高等教育機関。卒業後は大学3年生への編入資格が得られる。

・東京都立産業技術高等専門学校

東京工業高等専門学校(国立)、サレジオ工業高等専門学校(私立)他がある。

都立産業技術高等専門学校について

◇推薦入試と一般入試がある。

◇試験日が都立高校の一般入試より早いので、不合格になってもその後都立高校を受検できる。(合格した場合、他の都立高校は受検できない。)

V 進路に関する日程

| 月 | 主な学校行事 | 進路予定 | その他 |
|----|-----------------------|--|------------------------|
| 4 | 始業式(6) 保護者会(15) | ☆全国学力調査(20) 全国学力調査(23) | |
| 5 | | ☆全国学力調査(12) | 上級学校訪問(体育祭見学) |
| 6 | 運動会(6) | 第1回進路説明会(12) 第1回進路希望調査 ☆期末考査(18-19) | 上級学校訪問(体育祭見学) |
| 7 | 終業式(17) | 卒業生のお話を聞く会(予定) 三者面談(22-30) | 上級学校訪問(体育祭見学) |
| 8 | 夏季休業 | | 上級学校訪問(宿題) |
| 9 | 始業式(1) 修学旅行(28-30) | 多様な進路を考える進路説明会(4) ☆学習習得確認調査(9) ☆中間考査(17-18) 第2回進路希望調査 | 志望校訪問(文化祭見学) |
| 10 | 学芸発表会(24) | 第2回進路説明会(16)諸活動の記録配布 ☆区学習習得確認調査(14) 第3回進路希望調査 進路面談(28-30) | 志望校訪問(文化祭見学) |
| 11 | | 進路面談(2, 4, 5, 6,) ☆期末考査(9-11) 第4回進路希望調査 ☆ESAT-J(22) 仮評定通知(20) | 志望校訪問(文化祭見学) 高校説明会等 |
| 12 | 終業式(25) | 三者面談最終(1-8)志望校決定 入試相談開始(15) 推薦等確認書提出 調査書作成依頼封筒提出 面接練習 | 高校説明会等 私立願書入手(各家庭) |
| 1 | 始業式(8) | 集団討論練習 私立推薦出願・入試・発表 都立推薦出願・入試・発表 私立一般出願 | |
| 2 | | 都立推薦発表 都立一般出願 私立一般入試 都立一般入試(21) ☆学年末考査(24-26) | |
| 3 | 球技大会 卒業式(19) | 都立一般発表 都立・私立2次募集 | |

VI その他

（1）学校見学について（体育祭、文化祭、説明会、体験授業、個別相談など）

①手続き

◇HP で予約が必要な学校があります。各自でHPを確認し申し込みを行ってください。

（中学校から連絡が必要な場合はお知らせください）

◇見学に行く場合には、事前、事後と担任へ伝えてください。平日や土曜授業日は出席になります。

②諸注意

◇友達同士で訪問せず、できるだけ保護者と一緒に行きましょう。

◇服装は標準服です。生徒手帳を持参しましょう。

◇約束した時間は遅れないように、早めに到着しましょう。

◇高校に到着したら、まず受付に行き、中学校名と氏名を言いましょう。

◇担当の方には礼儀正しい態度で接し、挨拶をしっかりしましょう。（お礼も忘れずに）

◇筆記用具を持参して、必要であればメモをとりましょう。

◇受験する可能性のある学校へは少なくとも1度は見学に行きましょう。

（2）奨学金について

奨学金制度とは、進学の内欲はありながら家庭の経済事情により、進学が困難な学生が、国やその他の育英組織から学費の一部を借りて、進学を実現するための制度です。（無利子の奨学金が多いですが、有利子のものもあります）

奨学金は卒業後に返済します。そして次の世代の後輩たちの奨学金として循環されていく仕組みになっています。

中学校を通して申し込みできるものもあります。申し込み希望の場合は早めに担任までご相談ください。世田谷区以外にも都、国、日本学生支援機構などの制度もあります。（申請には提出書類が必要になります）

*あしなが高校奨学金

*交通遺児育英会

*東京都育英資金 など

*受験生チャレンジ支援貸付事業

（受験料や受講料の貸付）

（3）転居に伴う他府県の公立高校受験について

◇他府県に転出予定がある場合は都立高校を受検することはできません。その場合は、該当県の教育委員会に直接問い合わせをしてください。そしてその情報をもとに担任へ相談してください。

◇他府県の公立高校と都立高校の2つは受験できません。（私立高校は可能です。）

